

『おさんぽ子育て支援』のススメ

一般社団法人 new education LittleTree

[住所] 東京都港区赤坂 7-2-10-1003 [電話] 090-6653-4064

[HP] <https://www.new-edulittletree.com>

取組の目的・背景・沿革等

🌿 地域の環境や状況 取組の経緯・背景・理念等

子育て中の親の中には、自身の幼少期に自然の中で十分に遊んだ経験がない方が多くなってきている。社会全体の生活様式が大きく変化したことが要因であり、都心部だけでなく自然豊かな地域でも、外遊びをあまりしていないという状況である。

今の子どもたちには大人が意図的に自然に触れさせようと思わなければ、自然を体験する機会が生まれにくい。子育て支援の活動の一環として、親子のおさんぽイベントを行い、自然体験の大切さを伝えている。

取組の概要

🌿 取組の内容 施設や場の特徴、プログラムの特徴

最近、「どうやって外遊びをさせたら良いか分からない」という親御さんの声から、子育て支援センターや子育てサークルなどが主催で、外遊びの講座を開催したいと依頼され実施している。

自然に触れることの価値や機会を提供し、親も一緒に自然に触れて楽しむことを心掛けて行っている。

また、参加親子のほとんどは、0歳～3歳までの子どもと親ということもあり、過剰に危険の心配をする親が多い。ある程度緩やかに子どもの遊びを見ているも大丈夫ということを知ってもらうため、子どもの育ちの特性（0歳は感触遊びを、1歳児は階段の上り下りなど歩くことを楽しむなど）を伝え、子どもの体験を見守る関わりをしてみるように促している。

今年行った、以下3か所の活動を例に挙げてみると、環境やニーズの違いはあれ、保護者にとって心地の良い体験になることを心掛けることが大切だと感じている。

川崎市プレイセンターかんがる～では、親がまずは自然に気付けるようなアクティビティを提供し、その後の質疑応答では普段外遊びの時に迷うことなどの話が出た。自然に触れる体験もでき、もっと外遊びをしてみようという気持ちになったと感想をいただいた。



岩手県田野畑村のお母さんグループでは、あまり仕掛けはせずにお散歩を楽しむことを目的とした。自然を知っているスタッフと安心できる状況の中、みんなでお散歩をすることで、子どもと二人きりだと発見できない自然を体験できたとのことだった。

千葉県子育て支援ステーションニッセでは、4か月の子どもも参加しており、文字通り初めての外遊び体験になった。その際、子どもに無理はさせないよう、敷物を持っていき母子ともにリラックスして参加できるように配慮した。



実施体制について

自然が好きで、一緒に楽しめる感性があれば簡単にできている。

安全性への配慮

危険なことをあまり強調せず、少しのヒヤヒヤやドキドキする体験やチャレンジから、子ども自身が安全について学び取っているという話をしている。その上で、危険箇所の共有をしてからお散歩に出掛けている。

地域機関・団体との連携

子育て支援の活動をしている団体、保育園や幼稚園（親子イベントなど）、岩手県田野畑村（地方創生の一環として）

取組による効果

子供・保護者への影響

自然の中に出ることで、親子がリラックスして過ごすことができている。建物の中で遊ぶよりも、子ども同士でのトラブルも減り、親も他の人に迷惑を掛けてしまうのではないかと、というストレスが軽減される。

また、集団に入ることが苦手な子どもを抱える親にとって、大勢が集まる室内に連れて行くことは難しく、自然の中で集まってお散歩するということで孤立せずに緩やかに参加ができ、心の拠り所を作りやすいと考えている。自然の中で過ごすことで他の親子とのつながりが持ちやすくなっている。

地域社会への影響

都心部でも地方でも、子育て中の親は（特に乳児期）孤立しやすい社会だと思われる。自然を楽しむというきっかけで集まることで、孤立し、埋もれてしまっている親子を救う手立てとなると感じている。

取組を通じて全体的な所感

『良いとは分かっているもなかなか足が向かないお外遊び、今日子供ののびのびとした表情を見てやっぱり良いと感じました』アンケートでいただいた感想である。こうした親子に向け、お散歩を通じて子育て支援を行うことの意義を感じている。『おさんぽ子育て支援』は手軽にできるので、広がってほしいです！